

## 助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人

札幌市福祉生活支援センター

代表者・役職名 氏名 代表理事 松本 秀秋

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

#### 1. 助成プロジェクト名

自立援助ホーム設備改修工事

#### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

経済的困窮者及び青少年を対象者として「就労による自立」「日常生活における自立」「地域社会の一員として充実した生活を送る自立」に関する事業を行い、地域の福祉の向上に寄与することを目的とする。

#### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

経年劣化した清掃用シンクの洗面台を、家庭用の洗面台に変えることで、清潔感のある環境で身だしなみを整えることができ、一日の始めを心地よく過ごすことができるようになって欲しい。

#### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

自立援助ホーム内の児童専用洗面所の改修工事を行います。  
現在使用中の清掃用シンクを洗面台に変更し、サイドキャビネットを新規設置します。

#### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

以前の洗面台では、食べ残しやゴミを放置するなど衛生的に使えなかった児童が、新しく使い勝手の良い洗面台を汚さないよう、自然とキレイな状態を保ちながら使うことができています。  
また、大きくなった鏡や個別専用の棚がついたことで、身支度の時間が以前よりも短く、丁寧になったと児童からも喜びの言葉がありました。  
結果、児童の表情が明るくなり、「ありがとう」の声も増えました。大人と社会に対する信頼感が膨らんだように職員も喜んでおります。

#### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

児童と一番多く会話をし、指導するホーム長からも、「今の使い方ですべて問題ありません。」と言われるように、大切にキレイに使わせていただいております。  
今後も、真如苑様のお気持ちを忘れることなく、児童一人ひとりに「応援してくれている人がいる。」ことを伝えて参りたいと思います。

#### 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり